

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(可搬設備)

| No. | 指摘日 | 図書種別、 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | コメント内容 | 回答内容 | 資料等への 反映箇所 | 回答状況 | 備考 |
|-----|-----------|----------------|----------------------------------|-----|--|---|---|--------------|----|
| 1 | 2021/6/11 | VI-2-別添 3-1 | 可搬型重大事故等対処 設備の耐震計算の方針 | p22 | 考慮する荷重の組合せにおいて、積雪荷重については除雪にて対応することで無視できるとしているが、除雪に対する考え方を先行プラントと比較した上で、整理して説明すること。 | (次回以降回答) | — | 次回以降 回答予定 | |
| 2 | 2021/6/11 | VI-2-別添 3-1 | 可搬型重大事故等対処 設備の耐震計算の方針 | p60 | 可搬型重大事故等対処設備の転倒評価等において、ランダム波に加えて、正弦波又はサインビート波による加振試験を行っている理由を説明すること。 | それぞれの加振波は、対象となる設備の特徴や振動台の性能を踏まえて試験の都度決めており、加振波選定の考え方は以下のとおり。 ・正弦波は最大加速度が継続的に繰り返されるため、最も保守的な条件であり試験設定としても単純であるため、試験を繰り返しても損傷の可能性が低い小型の設備を小規模の振動台で加振する場合に適用している。 ・サインビート波は可搬型モニタリングポスト等の試験の繰り返しによる蓄積疲労で損傷することが懸念される設備に対して、正弦波ではなくサインビート波を適用している。 ・ランダム波は小型船舶のように固有周期の同定が難しい場合に幅広い周期帯の特性を確認するために適用している。 なお、ランダム波、正弦波及びサインビート波による加振試験はいずれの場合においても、設備設置場所を考慮して設定した目標の地震応答を上回る条件で試験を行っており、それぞれの試験結果の適用に問題はない。 | 「先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-別添3-1 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針)」(O2-工-B-01-0027) p85, 86 | 今回回答 | |
| 3 | 2021/6/11 | VI-2-別添 3-2 | 可搬型重大事故等対処 設備の保管エリア等における入力地震動 | p18 | 保管エリアの地震応答解析について、評価に用いた物性値等の条件の詳細を示した上で、最大加速度・変位・ひずみの分布を整理して説明すること。 | (次回以降回答) | — | 次回以降 回答予定 | |

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

| No. | 図書種別, 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 完了年月日 | 備考 |
|-----|---------------|-------------------|-------------|--|-----------|----|
| 1 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p2 | 屋外の可搬型重大事故等対処設備の固縛に係る設計方針について、記載を適正化しました。 | 2021/6/25 | |
| 2 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p3 | 「d.積雪及び火山の影響」の記載のうち「同時に必要な機能を損なうおそれがないよう」について、「必要な」の記載を削除しました。 | 2021/6/25 | |
| 3 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p8 | 「4.1 要求機能」について、先行プラントの記載範囲を確認し、適正化しました。 | 2021/6/25 | |
| 4 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p9 | 「(2) ポンベ設備」の記載のうち「必要な窒素又は空気」について、記載を適正化しました。 | 2021/6/25 | |
| 5 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p9 | 「(2)ポンベ設備」の波及的影響に係る記載について、他の記載箇所と整合するよう、記載を適正化しました。 | 2021/6/25 | |
| 6 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p11 | 「(3)その他設備.a. 構造強度」について、スリング等の固縛について記載しました。 | 2021/6/25 | |
| 7 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p18 | 代表図の選定について適正化しました。 | 2021/6/25 | |
| 8 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p20, p21 | 図6-2及び図6-3の図名称について、「ラック型」である旨を記載しました。 | 2021/6/25 | |
| 9 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p20 | 図6-2について、ラックの躯体への取付方法を明記しました。 | 2021/6/25 | |
| 10 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p23 | 「d. 波及的影響」における「保管場所における設置床の・・・」について、「保管場所における設置床又は地表面の・・・」に修正しました。 | 2021/6/25 | |
| 11 | VI-1-1-6-別添2 | 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 | p25 | 蓄電池について名称を記載するとともに、取付金具等の用語について他の記載箇所と整合するよう記載を適正化しました。 | 2021/6/25 | |

女川2号工認 記載適正化箇所(可搬設備)

| No. | 図書種別、 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 完了年月日 | 備考 |
|-----|---------------|----------------------|-------------|---|-----------|----|
| 12 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p18 | 代表図の選定について適正化しました。 | 2021/6/25 | |
| 13 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p19 | 図2-2について、ラックの躯体への取付方法を明記しました。 | 2021/6/25 | |
| 14 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p20 | 図2-3について、カードルの躯体への取付方法を明記しました。 | 2021/6/25 | |
| 15 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p21 | 図2-5, 図2-7について各部名称について記載の整合を図るとともに、対象設備名称を明記しました。 | 2021/6/25 | |
| 16 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | P2, 33 | 構造強度評価において評価対象頂部の水平方向加速及び鉛直方向加速度を適用していることを明記いたしました。 | 2021/6/25 | |
| 17 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p39~ p41 | 図4-2~図4-9について支持方法や図示内容について明記いたしました。 | 2021/6/25 | |
| 18 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p47 | フロー図について記載を適正化いたしました。 | 2021/6/25 | |
| 19 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p48 | 解析方法の記載および解析コードの記載位置について適正化いたしました。 | 2021/6/25 | |
| 20 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p50 | 記号Awについてせん断力を受ける断面積であることを明記しました。 | 2021/6/25 | |
| 21 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p58 | 剛設備であることから、減衰定数に関する記載を削除いたしました。 | 2021/6/25 | |
| 22 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p59 | 評価基準の記載について適正化しました。 | 2021/6/25 | |
| 23 | VI-2-別添3-1 | 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針 | p59 | 「(3)転倒評価」, 「(4)機能維持評価」, 「(5)波及的影響評価」における「保管場所における設置床の・・・」について, 「保管場所における設置床又は地表面の・・・」に修正しました。 | 2021/6/25 | |